

前年と比べダウンの水質

増水の影響で木頃小は延期

藤井川を守る会主催による藤井川ウォッチングが二日あった。藤井川に住む生物を採取して、この生き物から川の水質を知ろうというもの。藤井川の上流の木ノ庄西部地区ではホタルが舞い、見物に訪れる人もいるが、ホタルは決してお持ち帰りにならない。いろいろなところで、藤井川ウォッチングは雨の関係で木頃小が後日に延期。竜泉寺ダム下流の木ノ庄西、木ノ庄東、三成、栗原北、西藤の五つの小学校児童が、それぞれ学校周辺の川に入って水質調査した。学校によって十人から六十人が参加。



查、この日の水質記録を市公衛協がマップにし、各学校に配布のほか、藤井川の夕べでも展示する。今回は前日の大雨の影響があるものと思われるが、調査に当たって竜泉寺ダムに「放流は中止」を手抜きなく連絡。

木門田川はウズムシがいて、きれいな水だったが、全体的にはヒルがいたりして前年よりワンランクダウン。少しきかない水、きたない水が目立った。これにより児童達は、きれいな川にするための何かの行動を各家庭で起こすことが期待されている。

今回で十五回目の調査。

この結果、木ノ庄西の